

# 平成30年度 学校関係者評価

学校名

加古川市立加古川中学校

## 1 学校教育目標 自らを律し、共に学び合う生徒の育成 ～一人一人を伸ばす～

### 2 本年度努力目標

- (1) 知・徳・体をバランスよく育て、「生きる力」を育む教育の推進
- (2) 校区ユニットの活用による学校・家庭・地域の連携と開かれた学校づくりの推進
- (3) 生徒の学力向上を図るための学習指導の工夫・改善
- (4) 学校の組織力及び職員の資質能力の向上
- (5) いじめ防止対策改善プログラムの推進による「いじめを許さない学校」づくり

#### 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

| 努力項目               | 評価項目             | 達成状況 | 改善の方策   | 自己評価の適切さ（学校関係者評価）  | 達成状況 |
|--------------------|------------------|------|---|--|------|
| (1)「豊かな心」の育成       | あいさつ・会釈を刊行する     | A    | 校門での挨拶運動、授業の始め・終わりの挨拶、部活動での徹底など、学校全体で積極的なはたらきかけを行う。           | 外部者が行っても多くの生徒が挨拶をしてくれる。校外でも挨拶をしてきて気持ちがいい。挨拶は、最低限のマナー。まず家庭から。                             | A    |
| (2)「確かな学力」の育成      | 基礎的・基本的学力の定着     | B    | 基本的な学習習慣(忘れ物や提出物等)の徹底を行い、授業を大切に、基礎学力の定着を進める。朝学習の活用法を工夫したい。    | いろいろな学習方法などを研究され、敬意を表します。教師の教え方に、「ムラ」を無くして授業改善して欲しい。                                     | B    |
| (3)「健やかな体」の育成      | 部活動の活性化          | A    | 競技としての強さだけでなく、中学生としてのマナーや集団としての達成感をめざす。活動と休息のけじめをつけ、健康にも配慮する。 | ノ一部活デーが定着してきたように思える。制限時間内での部活動の充実はたいへんと思われるが、各部好成績を収め、頑張っていると思う。そのことが学校全体の雰囲気に影響していると思う。 | A    |
| (4) 生徒指導・特別支援教育の充実 | いじめを決して許さない集団づくり | A    | アンケートや教育相談を活用し、早期発見・早期対応ができる体制を整える。自分を大切に、他人も大切にできる心を養う指導を行う。 | たいへんなことだと思うが、生徒を大切に、よく観察していただきたい。長期不登校生対策が、最大の懸案事項。学校全体の姿勢が生徒の意識向上につながる。地道な取り組みをして欲しい。   | A    |
| (5) 開かれた学校         | 学校行事の工夫          | A    | 行事の目的や効果を検討し、PDCAサイクルを活用した反省や見直しを大切に、これからも工夫していきたい。           | 体育祭など本当に感動する。年間を通して素晴らしく考えられた行事になっているが、PDCAサイクルを活かし、賞賛・反省・見直しを怠らないようにしてほしい。              | A    |
| (6) 今年度の重点         | 道徳の教科科へ向けた取り組み   | A    | 全国大会のプレ授業を中心に、授業研究を行った。教科書・副読本を活用した年間計画や、評価方法の研修を深める。         | 学習や部活動も大切だが、「道徳教育」が一番大切で必要だと思う。地道な取り組みだと思うが、基礎から学ばせてほしい。SNS対策も充実させてほしい。                  | A    |